

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 飛騨特別支援学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和4年12月2日(金) 9:30~11:30
- 3 開催場所 飛騨特別支援学校 プレイルーム
- 4 参加者

会長	白田 美樹	高山日赤分校PTA代表
副会長	河野 知子	本校PTA会長
委員	塩谷 雅	はなさと町づくり協議会会長
	桑原 宏之	新宮町づくり協議会会計
	坂下美千代	山ゆり学園園長
	窪田 哲	高山市社会福祉協議会会長(欠席)
	石原 隆博	高山市福祉部福祉課課長
	柏木 真司	ウエルコミュニティ飛騨理事長
	大坪希美枝	環境ネット(株)サービス管理責任者
	嶋田喜美子	高山市民防災研究会 防災士(欠席)
学校側	竹田万里子	校長
	渡辺 敏昭	事務部長
	清水 栄枝	高山日赤分校副校長兼高等部主事
	太田 浩司	本校教頭
	道下亜紀子	本校小学部主事
	長瀬美智代	本校中学部主事
	奥田 和代	本校高等部主事
	松橋 美雪	高山日赤分校小中学部主事

5 会議の概要(協議事項)

(1) 授業参観

(2) 今年度の取組と来年度に向けて説明

(3) 意見交換

意見1:地域のイベント等を作品展や製品の紹介・販売等の機会にできるのではないかな。

意見2:農業分野との連携はよいこと。農業を希望している生徒や向いている生徒もいる。

現在人手の足りない農業分野で体験を実施していくとよい。

意見3:消防訓練は日曜日に実施している。可能であれば参加してみると地域とつながっていくのではないかな。消火器訓練やはしご車見学等も実施している。専門の設備業者と相談しながら、訓練を実施していけるとよい。

意見4：子どもたちの進路で重症心身障がいの生徒の卒業後の受け皿が課題である。一つの事業所で枠を広げるのは難しい。今後多くの人に実情を伝えることが大切。

意見5：消費者教育は子どもたちを守るために今後も継続することが大切。

意見6：卒業後を見通して在学中から卒業後の生活面についても情報共有していくことが必要で、多くの関係者が協力しながら幸せな人生を支えられるとよい

意見7：学校卒業後、また親亡き後の問題も大きな課題である。

意見8：学校卒業と同時に守られた生活から一変する。必要なときに必要なサービスが受けられるとよい。

意見9：災害後の授業再開に向けた計画も必要である。

(4) その他

- ・高等部作業学習の製品価格について → 適正な価格であるとの承認が得られた。

(5) 今年度のまとめ

- ・今年度は実際に授業を見学し、議論も活発にできた。
- ・活動の重点を3つに絞り実践することで、充実した実践ができている。特に学校周知は飛躍的に変わった。
- ・キャリア教育については今後専門家を巻き込んで実践する必要がある。
- ・今後このような実践を継続することが大事であり、この2年間取り組んだことを継続して定着させていきたい。

6 会議のまとめ

- ・学校や児童生徒の授業の様子を実際に参観することで、学校への理解を図ることができた。
- ・高等部の製品価格について全委員より承認が得られた。
- ・得られた意見を今年度の学校の反省に活かして、次年度に向けた活動計画に活用する。